

VI

各調査で用いた調査票

1 推計調査



足立区生活状況・意識に関するアンケート調査

区民の皆さまには、日頃から足立区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、足立区では、日頃の暮らしや外出の頻度、生きづらさなどを把握し、今後の区の実施の参考とさせていただくため、「生活状況・意識に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

今回のアンケート調査は、足立区に居住されている満15歳から64歳までの方のうち、住民基本台帳から5,000人を無作為に選ばせていただき、ご回答をお願いしております。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、個人情報の保護に配慮し、他の目的に使用することとは一切ございません。

誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 回答は、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、調査票を記入するか、オンラインの2つ方法があります。
→ 答えやすい方法をお選びください(どちらか1つ)。
- 調査項目は、全部で40問あります。
- 答えにくい質問には、無理にお答えいただかなくても結構です。
- お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。

回答方法の
詳細は
次ページへ

回答期日 令和7年12月19日(金)までの回答に、ご協力をお願いいたします。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

【担当・問い合わせ先】

足立区 福祉部 福祉まるごと相談課
住 所: 足立区梅島二丁目2番2号 足立区役所本庁舎別館1階
電 話: 03-6806-4431
F A X: 03-3880-5714
メール: kurashi-shigoto@city.adachi.tokyo.jp



回答は、以下の2つの方法から、いずれか1つでお願いします。

1 本調査票に記入して回答する



- ① 回答には、濃い鉛筆、黒または青のボールペンをご使用ください。
- ② 回答は、選択肢の中から選んで、番号に○印を付けてください。
- ③ 回答いただく○の数は、設問ごとに指定しておりますので、それに合わせてご回答ください。 例)○はひとつだけ、○はいくつでも可
- ④ ご自分の考えが選択肢の中にない場合には、「その他()」を選び()内に具体的にご記入ください。
- ⑤ 回答は、質問番号順にお答えください。質問の中には一部の方にだけおたずねするものもありますが、その場合は(→)等の案内にそって、お願いいたします。
- ⑥ 回答が終わりましたら、返信用封筒に本調査票のみを入れて、切手を貼らずにポストにご投函ください。

質問は次の3ページから始まります。



2 オンライン(インターネット)で回答する



- ① パソコン・タブレット・スマートフォンから回答できます。
- ② 下記「URL」をインターネットアドレス欄に直接入力する、または下記2次元コードを読み取り、回答ページにアクセスしてください。

URL: <https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp/apply/guide/3893>

2次元コード



※パスワードや個人情報の入力はありません

- ③ 選択肢の中から、ご自分の考えにあてはまるものを選んでご回答ください(設問によっては、直接文字を入力していただく箇所もございます)。
- ④ 回答が終わりましたら、「内容確認」ボタンを押して回答内容をご確認いただき、変更がなければ「申請完了」ボタンを押してください。戻る場合は、「前のページに戻る」ボタンを押してください(ブラウザの「戻る」ボタンは絶対に押さないでください)。
- ⑤ 通信サービスの接続料金は、回答者様のご負担になります。
- ⑥ 回答期限は、令和7年12月19日(金)23時59分までとさせていただきます。



【Q1～Q24は、すべての方がお答えください。】

Q1 あなたの性別をお答えください(○はひとつだけ)。

- | | | |
|------|------|------------------------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他(どちらともいえない、わからない、回答しない) |
|------|------|------------------------------|

Q2 あなたの年齢であてはまるものに、○をつけてください(○はひとつだけ)。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 15歳～19歳 | 4 30歳～34歳 | 7 45歳～49歳 |
| 2 20歳～24歳 | 5 35歳～39歳 | 8 50歳～54歳 |
| 3 25歳～29歳 | 6 40歳～44歳 | 9 55歳～59歳 |
| | | 10 60歳～64歳 |

Q3 現在、あなたと同居している方に、○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | | |
|---------|---------|----------------|
| 1 父 | 4 祖父・祖母 | 7 親族 |
| 2 母 | 5 配偶者 | 8 その他の人 |
| 3 きょうだい | 6 子 | 9 同居家族はいない(单身) |

Q4 あなたの家の生活費を用立てているのは、主にどなたですか。複数人で生活費を用立てている場合は、もっとも多く負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生活費を用立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください(○はひとつだけ)。

- | | | |
|---------|--------------|----------------|
| 1 あなた自身 | 5 きょうだい | 9 生活保護などを受けている |
| 2 父 | 6 子 | 10 その他 |
| 3 母 | 7 他の家族や親戚 | 〔 具体的に: 〕 |
| 4 配偶者 | 8 年金などを受けている | |

Q5 あなたの家の暮らし向き(衣・食・住などの物質的な生活水準)は、人々と比べてみて、以下のどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください(○はひとつだけ)。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 上の上 | 4 中の上 | 7 下の上 |
| 2 上の中 | 5 中の中 | 8 下の中 |
| 3 上の下 | 6 中の下 | 9 下の下 |

**Q6 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在在学中の学校はどれですか(○はひとつだけ)。
※ 全日制・定時制・通信制など学習形態は問いません。**

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 中学校 | 5 大学・大学院 |
| 2 高等学校 | 6 フリースクール |
| 3 専修学校・専門学校 | 7 その他 () |
| 4 高等専門学校・短期大学 | |

Q7 あなたはこれまでに、以下のような経験したことがありますか(○はあてはまるものいくつでも可)。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1 小学生時の不登校 | 5 就学、就職活動、就労のいずれかで困難な状況があった |
| 2 中学生時の不登校 | 6 就職から1年以内に離職・転職した |
| 3 高校生(通信制・定時制含む)時の不登校または中途退学 | 7 あてはまるものはない |
| 4 大学生(専修学校・専門学校、高等専門学校、短期大学を含む)時等の不登校または中途退学 | |

【Q7で「1～4」に○をつけた方のみ、Q8をお答えください。】

【5ページのQ9へ進んでください。】

Q8 不登校等になったきっかけは、何だと思いますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1 人間関係(いじめの場合を除く) | 8 精神面の不調・疾患 |
| 2 いじめ | 9 経済的な問題 |
| 3 先生との関係 | 10 その他 () |
| 4 学習面 | 具体的に: |
| 5 部活動・学校行事 | |
| 6 家庭の問題(家族との関係、家庭環境の変化) | 11 きっかけは特にない |
| 7 身体面(健康・体調など)の不調 | 12 わからない |

Q9 あなたの就業経験についてお答えください(○はひとつだけ)。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 現在、就業している | 3 現在は就業していないが、過去に就業経験がある |
| 2 現在、就業しているが休職や休業中である | 4 これまでに就業経験はない |

※「就業」は、パート、アルバイト、時短バイト等も含む

Q10 あなたの現在の仕事(学業を含む)をお答えください(○はひとつだけ)。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 学生・生徒(予備校生などを含む) | 8 家族従業者・内職 |
| 2 パート・アルバイト | 9 専業主婦・専業主夫 |
| 3 派遣社員 | 10 家事手伝い |
| 4 契約社員・嘱託社員 | 11 無職(現在仕事を探している) |
| 5 正規の社員・職員・従業員 | 12 無職(現在仕事を探していない) |
| 6 会社などの役員 | 13 その他 |
| 7 自由業・自営業 | 具体的に: |

Q11 あなたがご自宅にいるときに、よくしていることに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 テレビを見る | 11 動画やサイトを閲覧する |
| 2 ラジオを聴く | 12 SNSなどでの発信、チャットやメールのやりとり |
| 3 本を読む(マンガを除く) | 13 マンガを読む |
| 4 新聞を読む | 14 ペット動物と遊ぶ、世話をする |
| 5 ゲームをする | 15 散歩・スポーツなど体を動かす |
| 6 勉強をする | 16 趣味の活動をする |
| 7 仕事をする | 17 その他 |
| 8 家事をする | 具体的に: |
| 9 育児をする | |
| 10 介護・看護をする | 18 あてはまるものはない |

Q12 以下の通信手段で、あなたが普段利用しているものに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|---|---|
| 1 固定電話 | 6 ウェブサイト(電子掲示板、ウェブログを含む) |
| 2 ファクシミリ(ファックス、FAX) | 7 ソーシャル・ネットワーキング・サービス
(X、Instagram、TikTok、Facebook など) |
| 3 携帯電話・スマートフォンでの通話
(LINE などのアプリによる通話を含む) | 8 オンラインゲーム |
| 4 携帯電話・スマートフォン・パソコンでのメール | 9 その他 |
| 5 チャット(LINE などのアプリによるものを
含む)またはメッセージ | 具体的に: |
| | 10 あてはまるものはない |

Q13 次のア)～ソ)について、あなた自身の考えは、それぞれ1～4のどれにあてはまりますか。

ア)～ソ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない
ア) 自分には「自分らしさ」というものがあると思う	1	2	3	4
イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	1	2	3	4
ウ) 今の自分を変えたいと思う	1	2	3	4
エ) 将来よりも今の生活を楽しまたい	1	2	3	4
オ) 努力すれば希望する職業につくことができると思う	1	2	3	4
カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まる(決まるものもある)と思う	1	2	3	4
キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因がある(あるものもある)と思う	1	2	3	4
ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う	1	2	3	4
ケ) 今の自分が好きだ	1	2	3	4
コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	1	2	3	4
サ) 自分の親(保護者)から愛されていると思う	1	2	3	4
シ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4
ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
セ) 自分自身に満足している	1	2	3	4
ソ) 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4

Q14 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください(○はひとつだけ)。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえば、そう思わない |
| 2 どちらかといえば、そう思う | 4 そう思わない |

Q15 次の場所は、今のあなたにとって居場所(安心できる場所、居心地のいい場所等)になっていますか。

ア)～カ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	あてはまるものはない わからない
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5
イ) 家庭(実家や親族の家を含む)	1	2	3	4	5
ウ) 学校(卒業した学校を含む)	1	2	3	4	5
エ) 職場(過去の職場を含む)	1	2	3	4	5
オ) 地域(図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	1	2	3	4	5
カ) インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)	1	2	3	4	5

Q16 以下のア)～ウ)の項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。

ア)～ウ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	1	2	3	4
イ) 自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4

Q17 あなたと家族・親族とのかかわりは、どのようなものですか。

ア)～カ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) なんでも悩みを相談できる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
オ) 他の人には言えない本音話せることがある	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

Q18 あなたと家族・親族以外の人(友人・知人、地域の人、職場の同僚など)とのかかわりは、どのようなものですか。

ア)～カ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) なんでも悩みを相談できる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
オ) 他の人には言えない本音話せることがある	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

Q19 あなたとインターネット上における人*やグループ*とのかかわりは、どのようなものですか。

※ 実際には会ったことがない、または何回か会ったことはあるが、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)

ア)～カ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) なんでも悩みを相談できる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

Q20 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。

ア)～キ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	1	2	3	4
イ) 表情やしぐさで相手の思っていることが分かる	1	2	3	4
ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	1	2	3	4
エ) その場に合った行動がとれる	1	2	3	4
オ) 表情が豊かである	1	2	3	4
カ) 気持ちを押さえようとしても、顔に出てしまう	1	2	3	4
キ) 人にぶつかっても、あやまらないことがある	1	2	3	4

Q21 あなたは、「誰かのため、何かのために役立つことをしたい」と思いますか(○はひとつだけ)。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえば、そう思わない |
| 2 どちらかといえば、そう思う | 4 そう思わない |

Q22 あなたは、自分の将来についてどう考えていますか。あてはまるものを1つ選んでください(○はひとつだけ)。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 希望がある | 3 どちらかといえば希望がない |
| 2 どちらかといえば希望がある | 4 希望がない |

Q23 あなたは、今から20年後、どのようになっていると思いますか。

ア)～サ)のそれぞれについて、あてはまる番号を一つ選んで、番号に○を付けてください。	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
ア) お金持ちになっている	1	2	3	4
イ) 自由にのんびり暮らしている	1	2	3	4
ウ) 世界で活躍している	1	2	3	4
エ) 多くの人の役に立っている	1	2	3	4
オ) 有名になっている	1	2	3	4
カ) 子どもを育てている	1	2	3	4
キ) 親を大切にしている	1	2	3	4
ク) 幸せになっている	1	2	3	4
ケ) 結婚している	1	2	3	4
コ) 出世している	1	2	3	4
サ) 友人や仲間と仲良くしている	1	2	3	4

Q24 あなたは、普段どのくらい外出しますか(○はひとつだけ)。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | 5 仕事や学校で平日は毎日外出する |
| 2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | 6 仕事や学校で週に3～4日外出する |
| 3 自室からは出るが、家からは出ない | 7 遊び等で頻繁に外出する |
| 4 自室からほとんど出ない | 8 人づきあいのためにときどき外出する |

↓
【11ページのQ25へ進んでください】

↓
【12ページのQ28へ進んでください。】



【Q25～Q27は、Q24で「1～4」に○をつけた方のみお答えください。】

Q25 あなたが、現在の外出状況となって、どのくらい経ちますか(○はひとつだけ)。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 6か月未満 | 5 3年～5年未満 | 9 15年～20年未満 |
| 2 6か月～1年未満 | 6 5年～7年未満 | 10 20年～25年未満 |
| 3 1年～2年未満 | 7 7年～10年未満 | 11 25年～30年未満 |
| 4 2年～3年未満 | 8 10年～15年未満 | 12 30年以上 |

Q26 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃からですか(○はひとつだけ)。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 14歳以下 | 5 30歳～34歳 | 9 50歳～54歳 |
| 2 15歳～19歳 | 6 35歳～39歳 | 10 55歳～59歳 |
| 3 20歳～24歳 | 7 40歳～44歳 | 11 60歳以降 |
| 4 25歳～29歳 | 8 45歳～49歳 | |

**Q27 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか(○はいくつでも可)。
また、選んだ理由のなかで、最も大きな理由は何ですか(複数選んだ方のみ回答)。**

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1 学校になじめなかったこと | 11 病気(病名:) |
| 2 小学生時の不登校 | 12 障がい(障がい名:) |
| 3 中学生時の不登校 | 13 妊娠したこと |
| 4 高校生時の不登校または中途退学 | 14 退職したこと |
| 5 大学生時(専門学校生、短期大学生を含む)等の不登校または中途退学 | 15 介護・看護を担うことになったこと |
| 6 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 16 新型コロナウイルス感染症が流行したこと |
| 7 就職活動がうまくいかなかったこと | 17 その他() |
| 8 職場になじめなかったこと | 18 きっかけは特にない |
| 9 人間関係がうまくいかなかったこと | 19 わからない |
| 10 家族や家庭環境の変化 | |

最も大きな理由を
複数選んだ番号から1つ記載→



【ここからは、すべての方がお答えください。】

Q28 最近6か月の間に、あなたは家族以外の人と会話(オンラインでのやり取りも含む)しましたか(○はひとつだけ)。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 よく会話をした | 3 ほとんど会話しなかった |
| 2 ときどき会話をした | 4 まったく会話しなかった |

Q29 あなたは今までに、日常生活や社会生活を円滑に送れなかった経験がありましたか(または現在、円滑に送れていない状況がありますか)。最もあてはまるものを選んでください(○はひとつだけ)。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 今までに経験があった(または、現在ある) | 3 どちらかといえば、なかった(ない) |
| 2 どちらかといえば、あった(ある) | 4 なかった(ない) |
| | 5 わからない、答えられない |

【次のQ30へ進んでください】

【15ページのQ33へ進んでください】

Q30 あなたが日常生活や社会生活を円滑に送れなかった(または現在日常生活や社会生活を円滑に送れていない)主な原因は何ですか。以下の(1)~(5)それぞれにお答えください。

(1)自分自身について(○はいくつでも可)

- | | | |
|-------------|-----------------|----------|
| 1 人づきあいが苦手 | 5 何事も否定的に考えてしまう | 8 その他 |
| 2 精神的な病気 | 6 勉強が苦手 | } |
| 3 身体的な病気やケガ | 7 悩みや不安を相談できない | |
| 4 妊娠 | | 10 わからない |

(2)家族・家庭について(○はいくつでも可)

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|
| 1 家族内での不和や離別 | 7 親(保護者)の過干渉 | 13 看護・介護(自分が担い手) |
| 2 家庭内での孤立 | 8 親(保護者)の甘やかし | 14 その他 |
| 3 親(保護者)の過度な期待 | 9 親(保護者)への反発 | } |
| 4 親(保護者)の放任 | 10 きょうだい間のトラブル | |
| 5 親(保護者)の厳しいしつけ | 11 家庭が貧しい | 16 わからない |
| 6 親(保護者)からの虐待 | 12 家庭が裕福で生活の心配がない | |

【Q30の続きです】

(3)学校について(○はいくつでも可)

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 1 小学校時代の不登校 | 11 先生との関係が悪い(悪かった) |
| 2 中学校時代の不登校 | 12 友達との関係が悪い(悪かった) |
| 3 高校時代の不登校または中途退学 | 13 校則に合わせるのが嫌(嫌だった) |
| 4 大学時代(専門学校・短期大学等を含む)の不登校または中途退学 | 14 集団行動が苦手(苦手だった) |
| 5 中学受験の失敗 | 15 いじめを受けている(受けたことがある) |
| 6 高校受験の失敗 | 16 体罰やハラスメントを受けている(受けたことがある) |
| 7 大学受験の失敗 | 17 その他 |
| 8 不本意な入学 | 〔 〕 |
| 9 部活動・学校行事 | |
| 10 成績が悪い(悪かった)・授業についていけない(ついていけなかった) | 18 特にない |
| | 19 わからない |

(4)仕事・職場環境について(○はいくつでも可)

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1 就職に失敗 | 10 働きたくない(働きたくなかった) |
| 2 職場を退職 | 11 いわゆる「充電」の期間が必要(必要だった) |
| 3 職場を解雇 | 12 仕事が自分に向いてない(向いていなかった) |
| 4 仕事上でのミス | 13 自分の才能や特技が活かせる仕事でない |
| 5 上司や同僚との関係が悪い(悪かった) | 14 本当に自分がやりたい仕事ではない |
| 6 職場になじめない(なじめなかった) | 15 その他 |
| 7 仕事の量や内容が自分の能力を超えている(超えていた) | 〔 〕 |
| 8 いじめを受けている(受けたことがある) | |
| 9 ハラスメントを受けている(受けたことがある) | 16 特にない |
| | 17 わからない |

(5)現在の状況に至った思い、背景について、お書きいただける範囲でご記入ください。

Q31 あなたは今までに、日常生活や社会生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください(○はひとつだけ)。

1 あった	3 どちらかといえば、なかった
2 どちらかといえば、あった	4 なかった
	5 わからない

【Q31 で「1」または「2」を選んだ方のみ、
Q32をお答えください。】

【Q33 にお進みください。】

Q32 日常生活や社会生活を円滑に送ることができなかった状態が、改善したきっかけや役立ったことは何だと思いますか(○はいくつでも可)。

1 家族や親戚の助け	10 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと
2 友人の助け	11 就職・転職したこと
3 学校の先生に相談したこと	12 趣味の活動に参加したこと
4 スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	13 時間がたって状況が変化したこと
5 地域の人の助け	14 自分の努力で乗り越えたこと
6 病院に行って相談したこと	15 その他
7 相談できる場所に行って話したこと	〔 〕
8 電話で相談したこと	
9 SNSやメールなどで相談したこと	16 わからない、答えられない



【全ての方がお答えください】

Q33 あなたが、日常生活や社会生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人・場所なら、相談したいと思いますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある人 | 11 相手が自宅に来てくれる |
| 2 相手が同世代 | 12 無料で相談できる |
| 3 相手が同性 | 13 公的な支援機関 |
| 4 匿名で(自分を知られずに)相談できる | 14 民間の支援団体(NPO等) |
| 5 電話で相談できる | 15 医師・医療機関 |
| 6 SNSやメールなどで相談できる | 16 カウンセラーなど心理学の専門家 |
| 7 メタバース等を活用してオンラインで相談できる | 17 相談しなくても時間が過ごせる |
| 8 曜日・時間帯を気にせず相談できる | 18 その他 |
| 9 相談できる場所が自宅から近い | |
| 10 誰にも相談したくない | |

【「10 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ
Q34 にお進みください】

【1～9、11～18を選択した方は、
次ページの Q35 にお進みください。】

Q34 相談したくないと思う理由は何ですか(○はいくつでも可)。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1 相談しても解決しないと思うから | 9 嫌なことや出来ないことをするように言われ
そうだから |
| 2 自分ひとりで解決するべきだと思うから | 10 相手にうまく伝えられないから |
| 3 誰にも知られたくないことだから | 11 相手に裏切られたり、失望するのが嫌だから |
| 4 自分が変な人に思われるのではないかと
不安だから | 12 お金がかかると思うから |
| 5 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから | 13 その他 |
| 6 相手がどんな人かわからないから | |
| 7 何を聞かれるか不安に思うから | |
| 8 相談してもわかってもらえないだろうと思う
から | 14 特に理由はない、わからない |



【全ての方がお答えください】

Q35 あなたは、以下の相談できる専門家・支援機関などを知っていますか(○は知っているものにいくつでも可)。

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1 福祉まるごと相談課 | 11 東京都ひきこもりサポートネット |
| 2 保健所・保健センター | 12 病院・診療所 |
| 3 福祉事務所 | 13 精神保健福祉センター |
| 4 障がい福祉センター | 14 足立区内の当事者の会・家族会 |
| 5 障がい福祉課 | 15 足立区以外の当事者の会・家族会 |
| 6 地域包括支援センター | 16 ジョブサポートあだち |
| 7 社会福祉協議会 | 17 1～16 以外の民間の相談機関・支援機関(NPO 等) |
| 8 セーフティネットあだち(相談・居場所) | 18 その他の施設・機関 |
| 9 あだち若者サポートテラスSODA | 具体的に: |
| 10 職業安定所(ハローワーク)・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関 | 19 どこも知らない |

Q36 以下の関係機関(家族以外に相談できる専門家・支援機関など)に相談したことはありますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1 福祉まるごと相談課 | 11 東京都ひきこもりサポートネット |
| 2 保健所・保健センター | 12 病院・診療所 |
| 3 福祉事務所 | 13 精神保健福祉センター |
| 4 障がい福祉センター | 14 足立区内の当事者の会・家族会 |
| 5 障がい福祉課 | 15 足立区以外の当事者の会・家族会 |
| 6 地域包括支援センター | 16 ジョブサポートあだち |
| 7 社会福祉協議会 | 17 1～16 以外の民間の相談機関・支援機関(NPO 等) |
| 8 セーフティネットあだち(相談・居場所) | 18 その他の施設・機関 |
| 9 あだち若者サポートテラスSODA | 具体的に: |
| 10 職業安定所(ハローワーク)・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関 | 19 相談したことがない |

Q37 以下のことのうち、現在のあなたにとって必要だと感じるものすべてに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 自宅以外で自由に過ごせる居場所支援 | 11 自宅からオンラインで受けられる支援 |
| 2 どんな悩みでも相談できる相談窓口 | 12 訪問支援(家族や本人のニーズに合わせた訪問) |
| 3 日常生活に関する支援 | 13 ピアサポート(共通の悩みや経験を持つ方との交流) |
| 4 経済的支援(現金給付・補助金等) | 14 家族支援(家族会や家族の個別相談) |
| 5 医療的支援(訪問診療、デイケア、薬物療法等) | 15 親亡き後の支援 |
| 6 進学や復学支援 | 16 とくに必要とを感じるものはない |
| 7 就労支援(就労の相談・サポート) | 17 その他 |
| 8 就労支援(在宅でできる仕事の紹介) | [] |
| 9 ボランティア等何かのために活動できる場 | |
| 10 社会への参加や自立に向けたトレーニングができる場 | 18 わからない |

Q38 足立区では、悩みごとや困りごとを抱える方への支援について、様々な手段で情報発信しています。足立区の支援について、あなたはどのように情報を入手していますか(○はいくつでも可)。また、選んだ手段のなかで、最も利用する手段は何ですか(複数選んだ方のみ回答)。

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1 あだち広報 | 10 公的機関や社会福祉協議会、地域包括支援センター等からの紹介・情報 |
| 2 足立区ホームページ | 11 足立ひきこもり家族会からの紹介・情報 |
| 3 足立区X(旧ツイッター) | 12 医療・介護機関・NPO団体からの紹介・情報 |
| 4 足立区公式LINE | 13 ご家族・親戚からの紹介・情報 |
| 5 足立区公式フェイスブック | 14 友人・知人の方からの紹介・情報 |
| 6 区が発行するチラシ・パンフレット | 15 その他 |
| 7 新聞や雑誌 | [] |
| 8 ウェブサイトの閲覧・書き込み | |
| 9 ソーシャル・ネットワーキング・サービス(X、Instagram、TikTok、Facebookなど) | 16 情報を入手していない |

最も利用する手段を
複数選んだ番号から1つ記載→

Q39 現在、足立区では、様々な悩みや困りごとを抱える方たちへの支援のあり方を検討しています。
こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

Q40 現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。自由にお書きください。

質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、個人情報の保護に配慮しながらすべて統計的に処理し、今後の
区政運営の参考とさせていただきます。

他の目的に使用することは、一切ございません。



2 本人・家族への調査



ひきこもりに関するアンケート調査

区民の皆さまには、日頃から足立区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
このたび、足立区では、今後の区のひきこもり支援の参考とさせていただくため、「ひきこもりに関するアンケート調査」を実施することといたしました。

今回のアンケート調査は、以下の方々にご回答をお願いしております。

「セーフティネットあだち(区のひきこもり相談窓口)」や「足立ひきこもり家族会」につながっている(過去につながっていた)本人又はご家族

ご回答いただいた内容は、個人情報の保護に配慮しながらすべて統計的に処理し、他の目的に使用することは一切ございません。

誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 回答は、ご本人又はご家族がお答えください。
- 回答は、調査票を記入するか、オンラインの2つ方法があります。
→ 答えやすい方法をお選びください(どちらか1つ)。
- 調査項目は、全部で 30問あります。
- 答えにくい質問には、無理にお答えいただかなくても結構です。
- お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。

回答方法の
詳細は
次ページへ

回答期日 令和8年1月 10 日(土)までの回答に、ご協力をお願いいたします。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

【担当・問い合わせ先】

足立区 福祉部 福祉まると相談課
住 所: 足立区梅島二丁目2番2号 足立区役所本庁舎別館1階
電 話: 03-6806-4431
F A X: 03-3880-5714
メール: kurashi-shigoto@city.adachi.tokyo.jp





今回の調査では、「あなた」とは「ひきこもり状態のご本人」のことをお聞きしています。
ご家族の方やその他の方がご回答いただく場合には、ひきこもり本人の視点で記入をお願いいたします。

ご回答は、以下の2つの方法から、いずれか1つでお願いします。

1 本調査票に記入して回答する



- ① 回答には、濃い鉛筆、黒または青のボールペンをご使用ください。
- ② 回答は、選択肢の中から選んで、番号に○印を付けてください。
- ③ 回答いただく○の数は、設問ごとに指定しておりますので、それに合わせてご回答ください。
例)○はひとつだけ、○はいくつでも可
- ④ ご自分の考えが選択肢の中にない場合には、「その他()」を選び()内に具体的にご記入ください。
- ⑤ 回答は、質問番号順にお答えください。質問の中には一部の方にだけおたずねするものもありますが、その場合は(→)等の案内にそって、お願いいたします。
- ⑥ 回答が終わりましたら、返信用封筒に本調査票のみを入れて、切手を貼らずにポストにご投函ください。

質問は次の3ページから始まります。



2 オンライン(インターネット)で回答する



- ① パソコン・タブレット・スマートフォンから回答できます。
- ② 下記「URL」をインターネットアドレス欄に直接入力する、または下記2次元コードを読み取り、回答ページにアクセスしてください。

URL: <https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp/apply/guide/3909>

2次元コード



※パスワードや個人情報の入力はありません

- ③ 選択肢の中から、あてはまるものを選んでご回答ください(設問によっては、直接文字を入力していただく箇所もございます)。
- ④ 回答が終わりましたら、「内容確認」ボタンを押して回答内容をご確認いただき、変更がなければ「申請完了」ボタンを押してください。戻る場合は、「前のページに戻る」ボタンを押してください(ブラウザの「戻る」ボタンは絶対に押さないでください)。
- ⑤ 通信サービスの接続料金は、回答者様の負担になります。
- ⑥ 回答期限は、令和8年1月10日(土)23時59分までとさせていただきます。

はじめに

本アンケートにご記入いただくのは、どなたですか(○はひとつだけ)。

1 ご本人 2 ご家族の方 3 その他()



以降の質問の「あなた」は、ひきこもり状態のご本人をお示しています。

「2 ご家族の方」、「3 その他」に○をつけた場合は、ひきこもりご本人の視点で、わかる範囲でご回答くださいますよう、ご協力お願い申し上げます。

Q1 あなたの性別をお答えください(○はひとつだけ)。

1 男性 2 女性 3 その他(どちらともいえない、わからない、回答しない)

Q2 あなたの年齢をお答えください(○はひとつだけ)。

1 15歳～19歳	4 30歳～34歳	7 45歳～49歳
2 20歳～24歳	5 35歳～39歳	8 50歳～54歳
3 25歳～29歳	6 40歳～44歳	9 55歳～59歳
		10 60歳以上

Q3 現在、あなたと同居している方に○をつけてください(○はいくつでも可)。

1 父	4 祖父・祖母	7 親族
2 母	5 配偶者	8 その他の人
3 きょうだい	6 子	9 同居家族はいない(单身)

Q4 あなたの家の生活費を用立てているのは、主にどなたですか。複数人で生活費を用立てている場合は、もっとも多く負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生活費を用立てている方は、その仕送りを主にして给你们人をお答えください(○はひとつだけ)。

1 あなた自身	5 きょうだい	9 生活保護などを受けている
2 父	6 子	10 その他
3 母	7 他の家族や親戚	【具体的に: 】
4 配偶者	8 年金などを受けている	

Q5 あなたの家の暮らし向き(衣・食・住などの物質的な生活水準)は、人々と比べてみて、以下のどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください(○はひとつだけ)。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 上の上 | 4 中の上 | 7 下の上 |
| 2 上の中 | 5 中の中 | 8 下の中 |
| 3 上の下 | 6 中の下 | 9 下の下 |

**Q6 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在在学中の学校はどれですか(○はひとつだけ)。
※ 全日制・定時制・通信制など学習形態は問いません。**

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 中学校 | 5 大学・大学院 |
| 2 高等学校 | 6 フリースクール |
| 3 専修学校・専門学校 | 7 その他() |
| 4 高等専門学校・短期大学 | |

Q7 あなたはこれまでに、以下のような経験したことがありますか(○はあてはまるものいくつでも可)。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1 小学生時の不登校 | 5 就学、就職活動、就労のいずれかで困難な状況があった |
| 2 中学生時の不登校 | 6 就職から1年以内に離職・転職した |
| 3 高校生時(通信制・定時制含む)の不登校または中途退学 | 7 あてはまるものはない |
| 4 大学生(専修学校・専門学校、高等専門学校、短期大学を含む)時等の不登校または中途退学 | 8 わからない |

【Q7で「1～4」に○をつけた方のみ、Q8をお答えください。】

【5ページのQ9へ進んでください。】

Q8 不登校等になったきっかけは、何だと思いますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1 人間関係(いじめの場合を除く) | 8 精神面の不調・疾患 |
| 2 いじめ | 9 経済的な問題 |
| 3 先生との関係 | 10 その他 |
| 4 学習面 | 具体的に: () |
| 5 部活動・学校行事 | |
| 6 家庭の問題(家族との関係、家庭環境の変化) | 11 きっかけは特にない |
| 7 身体面(健康・体調など)の不調 | 12 わからない |

Q9 あなたの就業経験についてお答えください(○はひとつだけ)。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 現在、就業している | 3 現在は就業していないが、過去に就業経験がある |
| 2 現在、就業しているが休職や休業中である | 4 これまでに就業経験はない |
| | 5 わからない |

※「就業」は、パート、アルバイト、時短バイト等も含む

Q10 あなたの現在の仕事(学業を含む)をお答えください(○はひとつだけ)。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 学生・生徒(予備校生などを含む) | 8 家族従業者・内職 |
| 2 パート・アルバイト | 9 専業主婦・専業主夫 |
| 3 派遣社員 | 10 家事手伝い |
| 4 契約社員・嘱託社員 | 11 無職(現在仕事を探している) |
| 5 正規の社員・職員・従業員 | 12 無職(現在仕事を探していない) |
| 6 会社などの役員 | 13 その他 |
| 7 自由業・自営業 | (具体的に:) |

Q11 あなたがご自宅にいるときに、よくしていることに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 テレビを見る | 11 動画やサイトを閲覧する |
| 2 ラジオを聴く | 12 SNSなどでの発信、チャットやメールのやりとり |
| 3 本を読む(マンガを除く) | 13 マンガを読む |
| 4 新聞を読む | 14 ペット動物と遊ぶ、世話をする |
| 5 ゲームをする | 15 散歩・スポーツなど体を動かす |
| 6 勉強をする | 16 趣味の活動をする |
| 7 仕事をする | 17 その他 |
| 8 家事をする | (具体的に:) |
| 9 育児をする | 18 あてはまるものはない |
| 10 介護・看護をする | 19 わからない |

Q12 以下の通信手段で、あなたが普段利用しているものに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|---|---|
| 1 固定電話 | 7 ソーシャル・ネットワーキング・サービス
(X、Instagram、TikTok、Facebook など) |
| 2 ファクシミリ(ファックス、FAX) | 8 オンラインゲーム |
| 3 携帯電話・スマートフォンでの通話
(LINE などのアプリによる通話を含む) | 9 その他 |
| 4 携帯電話・スマートフォン・パソコンでのメール | 具体的に: |
| 5 チャット(LINE などのアプリによるものを
含む)またはメッセージ | 10 あてはまるものはない |
| 6 ウェブサイト(電子掲示板、ウェブログを含む) | 11 わからない |

Q13 あなたが感じている不安や危機感として、どのようなものがありますか。すべてに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1 近い将来(5年以内)の収入・生活費など
経済的なこと | 11 困ったときに相談したり、頼れる関係性の人
がいない |
| 2 比較的遠い将来(6～10年後)の収入・生活
費など経済的なこと | 12 結婚や恋愛問題 |
| 3 家族の高齢化、介護・看護 | 13 自分の生き方や生きがい |
| 4 家事や身の回りのこと | 14 孤立や孤独死 |
| 5 自分の健康 | 15 自分に対して自信がないこと |
| 6 家族の健康 | 16 住まいのこと(親の高齢化、親亡き後など) |
| 7 家族との関係 | 17 その他 |
| 8 友人や仲間との人間関係 | 具体的に: |
| 9 就職や仕事 | 18 特に感じている不安や危機感はない |
| 10 学業や学校 | 19 わからない |

Q14 最近6か月の間に、あなたは家族以外の人と会話(オンラインでのやり取りも含む)しましたか(○はひとつだけ)。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 よく会話をした | 3 ほとんど会話しなかった |
| 2 ときどき会話をした | 4 まったく会話しなかった |

Q15 あなたは、普段どのくらい外出しますか(○はひとつだけ)。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | 5 仕事や学校で外出する(概ね週5日程度) |
| 2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | 6 仕事や学校で外出する(概ね週3日程度) |
| 3 自室からは出るが、家からは出ない | 7 遊び等で頻繁に外出する |
| 4 自室からほとんど出ない | 8 人づきあいのためにときどき外出する |
| | 9 わからない |

Q16 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃からですか(○はひとつだけ)。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 14歳以下 | 5 30歳～34歳 | 9 50歳～54歳 |
| 2 15歳～19歳 | 6 35歳～39歳 | 10 55歳～59歳 |
| 3 20歳～24歳 | 7 40歳～44歳 | 11 60歳以降 |
| 4 25歳～29歳 | 8 45歳～49歳 | 12 わからない |

**Q17 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか(○はいくつでも可)。
また、選んだ理由のなかで、最も大きな理由は何ですか(複数選んだ方のみ回答)。**

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1 学校になじめなかったこと | 11 病気(病名:) |
| 2 小学生時の不登校 | 12 障がい(障がい名:) |
| 3 中学生時の不登校 | 13 妊娠したこと |
| 4 高校生時の不登校または中途退学 | 14 退職したこと |
| 5 大学生時(専門学校生、短期大学生を含む)等の不登校または中途退学 | 15 介護・看護を担うことになったこと |
| 6 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 16 新型コロナウイルス感染症が流行したこと |
| 7 就職活動がうまくいかなかったこと | 17 その他 () |
| 8 職場になじめなかったこと | 18 きっかけは特にない |
| 9 人間関係がうまくいかなかったこと | 19 わからない |
| 10 家族や家庭環境の変化 | |

最も大きな理由を
複数選んだ番号から1つ記載→

Q18 あなたが現在の状態となって、どのくらい経ちますか(過去にひきこもり状態であった方は、その状態がどのくらい続きましたか)(○はひとつだけ)。

※ 断続的にひきこもり状態であった方は、合計の期間で○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1 6か月未満 | 6 5年～7年未満 | 11 25年～30年未満 |
| 2 6か月～1年未満 | 7 7年～10年未満 | 12 30年以上 |
| 3 1年～2年未満 | 8 10年～15年未満 | 13 わからない |
| 4 2年～3年未満 | 9 15年～20年未満 | |
| 5 3年～5年未満 | 10 20年～25年未満 | |

Q19 あなたは現在、どのように接して欲しいと思いますか。

(1) 家族について(○はいくつでも可)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 何も言わずに見守って欲しい | 5 自分となるべく関わらないで欲しい |
| 2 普段通りの態度で接して欲しい | 6 わからない |
| 3 自分を励まして欲しい | 7 その他 |
| 4 相談先を探して欲しい | 具体的に |

(2) 支援機関について(○はいくつでも可)

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 相談に乗って欲しい | 6 元気になるまで関わらないで欲しい |
| 2 必要な情報を自分が得られるよう、定期的に情報発信して欲しい | 7 何も考えたくない |
| 3 必要な情報を家族が得られるよう、定期的に情報発信して欲しい | 8 わからない |
| 4 家で自分と話すのはいいが、家族には関わらないで欲しい | 9 その他 |
| 5 家で家族と話すのはいいが、自分には関わらないで欲しい | 具体的に |

(3) 当事者会・家族会について(○はいくつでも可)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 初めての参加でも受け入れる雰囲気であって欲しい | 6 就労などを強いて欲しくない |
| 2 経験を分かち合って欲しい | 7 わからない |
| 3 みんなで楽しい体験をしたい | 8 その他 |
| 4 自分をそのまま受け入れて欲しい | 具体的に |
| 5 自分の思いや価値観を尊重して接して欲しい | |

Q20 ひきこもり状態が当初よりも改善したと思う方にお聞きます。状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1 家族や親戚の助け | 11 オンライン上の当事者会に参加したこと |
| 2 友人の助け | 12 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと |
| 3 学校の先生に相談したこと | 13 就職・転職したこと |
| 4 スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと | 14 趣味の活動に参加したこと |
| 5 地域の人の助け | 15 時間がたって状況が変化したこと |
| 6 病院に行って相談したこと | 16 自分の努力で乗り越えたこと |
| 7 相談できる場所に行って相談したこと | 17 その他 |
| 8 電話相談を利用したこと | 具体的に: |
| 9 SNSやメール相談などを利用したこと | |
| 10 対面式の当事者会に参加したこと | 18 わからない、答えられない |

Q21 これまでに関係機関(家族以外に相談できる専門家・支援機関など)に相談したことはありますか。相談したことがある機関に○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|--|--|
| 1 福祉まるごと相談課 | 12 病院・診療所 |
| 2 保健所・保健センター | 13 精神保健福祉センター |
| 3 福祉事務所 | 14 足立区内の当事者の会・家族会 |
| 4 障がい福祉センター | 15 足立区以外の当事者の会・家族会 |
| 5 障がい福祉課 | 16 ジョブサポートあだち |
| 6 地域包括支援センター | 17 1～16 以外の民間の相談機関・支援機関(NPO 等) |
| 7 社会福祉協議会 | 18 その他の施設・機関 |
| 8 セーフティネットあだち(相談・居場所) | 具体的に: |
| 9 あだち若者サポートテラスSODA | 19 相談したことがない |
| 10 職業安定所(ハローワーク)・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関 | 20 わからない |
| 11 東京都ひきこもりサポートネット | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>現在も継続して相談している機関の番号を記載してください→</p> </div> |



【Q21で「8 セーフティネットあだち」に○をつけた方のみQ22～24 をお答えください】

Q22 セーフティネットあだちに相談(居場所利用も含む)していた期間に○をつけてください。現在利用中の方は、現在までの利用期間に○をつけてください(○はひとつだけ)。

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1 1回のみ | 4 6か月～1年未満 | 7 3年～4年未満 |
| 2 3か月未満 | 5 1年～2年未満 | 8 4年～5年未満 |
| 3 3か月～6か月未満 | 6 2年～3年未満 | 9 5年以上 |

Q23 セーフティネットあだちを知ったきっかけについて教えてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1 あだち広報 | 10 福祉まるごと相談課(旧くらしとしごとの相談センター)からの紹介・情報 |
| 2 足立区ホームページ | 11 公的機関や社会福祉協議会、地域包括支援センター等からの紹介・情報 |
| 3 足立区X(旧ツイッター) | 12 足立ひきこもり家族会からの紹介・情報 |
| 4 足立区公式LINE | 13 医療・介護機関・NPO団体からの紹介・情報 |
| 5 足立区公式フェイスブック | 14 ご家族・親戚からの紹介・情報 |
| 6 区が発行するチラシ・パンフレット | 15 友人・知人の方からの紹介・情報 |
| 7 新聞や雑誌 | 16 その他 |
| 8 ウェブサイトの閲覧・書き込み | (具体的に:) |
| 9 ソーシャル・ネットワーキング・サービス(X、Instagram 等)の閲覧・書き込み | 17 わからない |

Q24 セーフティネットあだちについてご意見・ご感想などございましたら、自由にお書きください。



【全ての方がお答えください】

Q25 関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある | 11 無料で相談できる |
| 2 相手が同世代である | 12 相手先が公的な支援機関である |
| 3 相手が同性である | 13 相手先が民間の支援団体(NPO等)である |
| 4 匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる | 14 相手が医師である |
| 5 電話で相談できる | 15 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である |
| 6 SNSやメールなどで相談できる | 16 相談しなくても時間が過ごせる |
| 7 メタバース等を活用してオンラインで相談できる | 17 その他 |
| 8 曜日・時間帯を気にせず相談できる | 具体的には: |
| 9 相談できる場所が自宅から近い | 18 あてはまるものはない |
| 10 相手が自宅に来てくれる | 19 わからない |

Q26 以下のことのうち、現在のあなたにとって必要だと感じるものすべてに○をつけてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 自宅以外で自由に過ごせる居場所支援 | 11 自宅からオンラインで受けられる支援 |
| 2 どんな悩みでも相談できる相談窓口 | 12 訪問支援(家族や本人のニーズに合わせた訪問) |
| 3 日常生活に関する支援 | 13 ピアサポート(共通の悩みや経験を持つ方との交流) |
| 4 経済的支援(現金給付・補助金等) | 14 家族支援(家族会や家族の個別相談) |
| 5 医療的支援(訪問診療、デイケア、薬物療法等) | 15 親亡き後の支援 |
| 6 進学や復学支援 | 16 とくに必要と感じるものはない |
| 7 就労支援(就労の相談・サポート) | 17 その他 |
| 8 就労支援(在宅でできる仕事の紹介) | 具体的には: |
| 9 ボランティア等何かのために活動できる場 | 18 わからない |
| 10 社会への参加や自立に向けたトレーニングができる場 | |

Q27 足立区では、悩みごとや困りごとを抱える方への支援について、様々な手段で情報発信しています。足立区の支援について、あなたはどのように情報を入手していますか(○はいくつでも可)。また、選んだ手段のなかで、最も利用する手段は何ですか(複数選んだ方のみ回答)。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 あだち広報 | 11 足立ひきこもり家族会からの紹介・情報 |
| 2 足立区ホームページ | 12 医療・介護機関・NPO団体からの紹介・情報 |
| 3 足立区X(旧ツイッター) | 13 ご家族・親戚からの紹介・情報 |
| 4 足立区公式LINE | 14 友人・知人の方からの紹介・情報 |
| 5 足立区公式フェイスブック | 15 その他 |
| 6 区が発行するチラシ・パンフレット | [] |
| 7 新聞や雑誌 | |
| 8 ウェブサイトの閲覧・書き込み | 16 情報を入手していない |
| 9 ソーシャル・ネットワーキング・サービス
(X、Instagram、TikTok、Facebook など) | 17 わからない |
| 10 公的機関や社会福祉協議会、地域包括支援
センター等からの紹介・情報 | |

最も利用する手段を
複数選んだ番号から1つ記載→

Q28 現在、足立区では、様々な悩みや困りごとを抱える方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

Q29 あなたへの接し方で、望ましくないと思っていることはありますか。自由にお書きください。

Q30 一歩踏み出すきっかけがあればいいなと思っていることはありますか。自由にお書きください。

質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、個人情報の保護に配慮しながらすべて統計的に処理し、今後の区政運営の参考とさせていただきます。

他の目的に使用することは、一切ございません。



3 関連事業者への調査



介護の現場から見える「ひきこもり」に関するアンケート調査

日頃から、区の福祉行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、足立区では、ひきこもりに係る実態や状況を捉え、今後の支援検討の参考とさせていただくため、「アンケート調査」を実施することといたしました。

今回の調査は、8050世帯の実情から、支援につがっていない可能性が高いひきこもり本人の実態や状況を捉えることを目的として、以下の事業者の皆さまにご協力をお願いしております。

- ◆ 地域包括支援センター
- ◆ 区内介護サービス事業者(居宅介護支援、訪問看護、訪問介護)

回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的に使用することは一切ございません。
誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 回答は、事業所単位でお答えください。
- 回答は、調査票を記入するか、オンラインの2つ方法があります。
→ お答えしやすい方法でお答えください(どちらか1つ)。
- 調査項目は、全部で15問あります。
- 答えにくい質問には、無理にお答えいただかなくても結構です。
- 事業所名や担当者名を記載する必要はございません。

回答方法の
詳細は
次ページへ

回答期日 令和7年12月19日(金)までの回答に、ご協力をお願いいたします。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

【担当・問い合わせ先】

足立区 福祉部 福祉まると相談課
住 所: 足立区梅島二丁目2番2号 足立区役所本庁舎別館1階
電 話: 03-6806-4431
F A X: 03-3880-5714
メール: kurashi-shigoto@city.adachi.tokyo.jp



回答は、以下の2つの方法から、いずれか1つでお願いします。

1 調査票に入力してメールで回答する



- ① 回答は、本調査票データをご使用ください。
- ② 回答は、選択肢の中から選んで、番号横のチェックボックスに✓印を付けてください。
- ③ 回答いただく✓の数は、設問ごとに指定しておりますので、それに合わせてご回答ください。 例) ✓はひとつだけ、✓はいくつでも可
- ④ 当てはまる選択肢の中にない場合には、「その他()」を選び()内に具体的にご入力ください。
- ⑤ 入力が終わりましたら、本調査票データのみを、福祉まると相談課へメールにてご返送ください。(✉ kurashi-shigoto@city.adachi.tokyo.jp)

質問は次の3ページから始まります。



2 オンライン(インターネット)で回答する



- ① 下記 URL 又は二次元コードからお進みください。
<https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp/apply/guide/3910>
- ② 回答が終わりましたら、「内容確認」ボタンを押して回答内容をご確認いただき、変更がなければ「申請完了」ボタンを押してください。戻る場合は、「前のページに戻る」ボタンを押してください(ブラウザの「戻る」ボタンは絶対に押さないでください)。
- ③ 回答期限は、令和7年12月19日(金)23時59分までとさせていただきます。
- ④ オンラインでご回答いただいた際は、メールでの回答は不要です。

「ひきこもり」とは

様々な要因により、社会的参加(就学、就労、家庭外での交友など)を避け、自宅にとどまり続けている状態をいいます。ひきこもり自体は、必ずしも問題行動や病気を意味するものではありません。

自室や自宅から全く出られない方もいれば、コンビニや図書館など、他者と交わらない形で外出する方もいます。

本調査における「ひきこもり状態」に該当する方

家族以外の方との交流が無く、本人の外出状況が右記の定義にあてはまる方が、本調査における「ひきこもり状態」に該当します。

※ ただし、「何らかの形で就労している方」、「専業主婦・主夫・家事手伝いの方」、「身体的な病気の方」、「介護・看護に従事している方」、「家事・育児に従事している方」、「妊娠中の方」は除きます。

＜参考 R4 実施・内閣府調査におけるひきこもり状態の定義＞

広義のひきこもり

狭義のひきこもり

- ・自室からほとんど出ない
- ・自室からは出るが、家からは出ない
- ・近所のコンビニなどには出かける

準ひきこもり

趣味の用事の時
だけ外出する

Q1 貴事業所の該当する業態に✓をつけてください(✓はひとつだけ)。

1 ☐ 地域包括支援センター

3 ☐ 訪問看護事業所

2 ☐ 居宅介護支援事業所

4 ☐ 訪問介護事業所

Q2 貴事業所で、利用者の方への相談・訪問等の実務を行う社員・従業員は何人いますか？

人 ※ 令和7年10月末時点の人数

Q3 貴事業所の社員・従業員が業務において利用者の方と関わる中で、利用者のご家族にひきこもり状態の方がいる(同居・別居問わず)という事例はありますか？(✓はひとつだけ)。

1 ☐ 事例がある

2 ☐ 過去に事例があった

3 ☐ 事例はない

【Q4へお進みください。】

【Q9へお進みください。】

Q4 Q3の事例に該当するひきこもり状態の方の人数は、事業所全体でおおよそ何人ぐらいいますか、又はいましたか？あわせて、ひきこもり状態にある方の年代・性別についても教えてください。

人 ※ 回答時点で把握できるおおよその人数、年代、性別で結構です。
(直近の2年間程度の期間内)

年代	人数	性別
10歳代	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)
20歳代	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)
30歳代	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)
40歳代	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)
50歳代	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)
60歳代以上	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)
不 明	人	男性(人)、女性(人)、その他(人)

Q5 ひきこもり状態にある方を、社員・従業員の方はどのようなきっかけで知りましたか？該当する項目に✓をつけてください(✓はいくつでも可)。

- | | |
|--|--|
| 1 ☐ 本人からの相談 | 6 ☐ 相談や情報提供は無かったが、担当業務に従事するなかで知った |
| 2 ☐ 家族からの相談 | 7 ☐ その他 |
| 3 ☐ 近隣の方からの情報提供 | 具体的には |
| 4 ☐ 町会・自治会や民生・児童委員からの情報提供 | |
| 5 ☐ 関係機関からの情報提供 | |

Q6 ひきこもり状態の方に接した場合、職員の方はどのような対応をしましたか？該当する項目に✓をつけてください(✓はいくつでも可)。

- | | |
|---|---|
| 1 ☐ 特に対応はしていない | 6 ☐ 本人が相談窓口・支援機関につながるよう連絡調整(ケースの引継ぎ等)を行う |
| 2 ☐ 相談窓口・支援機関の情報提供を行う | 7 ☐ その他 |
| 3 ☐ 家族への声掛け | 具体的には |
| 4 ☐ 本人への声掛け | |
| 5 ☐ 家族が相談窓口・支援機関につながるよう連絡調整(ケースの引継ぎ等)を行う | |

Q7 ひきこもりの相談を受けたとき、社員・従業員の方はどのようなことが難しいと感じますか？該当する項目に✓をつけてください(✓はいくつでも可)。

- | | |
|--|--|
| 1 ☐ ひきこもりについての知識が少ない | 6 ☐ 業務対象外の事にどこまで関わるべきかわからない |
| 2 ☐ 本人・家族に対してどのようにアプローチしていいかわからない | 7 ☐ 介護サービスの利用者との関係に影響が出る |
| 3 ☐ 本人・家族の支援先としてどこにつなげばいいかわからない | 8 ☐ 本来業務が忙しいため、手が回らない |
| 4 ☐ 家族が、ひきこもり本人の存在を隠す・支援を望んでいない | 9 ☐ その他 |
| 5 ☐ 家族は支援を望んでいるが、本人が相談や支援を望んでいない | 具体的には |

Q8 ひきこもり状態にあるご本人やご家族に関わった事例で、支援機関につなげたい事例や、連携がうまくいった事例、困難だった事例などがあれば、ご記入ください(自由記述)。

■ 支援機関につなげたい事例

例)・利用者のご家族から、ひきこもりの子のことで相談先はないかと聞かれた。
・利用者とひきこもりの子の2人で暮らす、親が施設入所となり、子が1人きりになっている。

■ 連携がうまくいった事例

例)・「ひきこもり支援のリーフレット」をお渡ししたことで、家族から相談窓口につなげることができた。
・家族がセーフティネットあだちとつながったことで、家族内の雰囲気は穏やかになった。

■ 困難だった事例

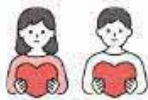
例)・ご家族が相談することを諦めている。 ・ひきこもり本人又は家族が支援を拒否している。
・ひきこもり本人がいると思われるが会えない。 ・ひきこもり本人と家族の関係が悪化している。



【ここからは、すべての事業所がお答えください。】

Q9 「セーフティネットあだち※」について、該当する項目に✓をつけてください(✓はひとつだけ)。

- 1 ☐ 利用者の関係で実際に相談・問合せや連携をしたことがある
- 2 ☐ 連絡先や支援内容はおおむね把握している
- 3 ☐ 場所や連絡先は知っている
- 4 ☐ 名称は聞いたことがある
- 5 ☐ 知らない/これまで全く知らなかった



※ 足立区では、ひきこもりの相談と居場所支援の窓口「セーフティネットあだち」にて、ひきこもりの本人や家族の尊厳と自己肯定感の回復を主要な目的として、支援を行っています(関係機関からのご相談も受け付けています)。 **詳しくは、9ページへ**

Q10 貴事業所でひきこもり状態の方と関わる機会があった場合、「セーフティネットあだち」との関わりについて、該当する項目に✓をつけてください(✓はひとつだけ)。

- 1 ☐ 連携して一緒に支援をしていく/連携したい
- 2 ☐ 本人や家族がつながるよう連絡調整する
- 3 ☐ 本人や家族に情報を提供する
- 4 ☐ 見守りにとどめる
- 5 ☐ その他()

Q11 「足立ひきこもり家族会※」について、該当する項目に✓をつけてください(✓はひとつだけ)。

- 1 ☐ 利用者の関係で、実際に相談・問合せや連携をしたことがある
- 2 ☐ 連絡先や支援内容はおおむね把握している
- 3 ☐ 名称や活動場所、連絡先は知っている
- 4 ☐ 名称は聞いたことがある
- 5 ☐ 知らない/これまで全く知らなかった



※ 足立ひきこもり家族会は、ひきこもり状態にある方のご家族等が運営しています。家族同士で悩みを分かち合ったり、本人への接し方、ひきこもりの理解等について、公認心理士などの専門家、ピアサポーターを交えた勉強会、情報交換、交流会などを行っています。 **詳しくは、9ページへ**

Q12 貴事業所でひきこもり状態の方と関わる機会があった場合、「足立ひきこもり家族会」との関わりについて、該当する項目に✓をつけてください(✓はひとつだけ)。

- 1 ☐ 連携して一緒に支援をしていく/連携したい 4 ☐ 見守りにとどめる
2 ☐ 本人や家族がつながるよう連絡調整する 5 ☐ その他()
3 ☐ 本人や家族に情報を提供する

Q13 足立区の「福祉まると相談課」について該当する項目に✓をつけてください(✓はひとつだけ)。

- 1 ☐ 利用者の関係で実際に相談・問合せや連携をしたことがある
- 2 ☐ 連絡先や支援内容はおおむね把握している
- 3 ☐ 場所や連絡先は知っている
- 4 ☐ 名称は聞いたことがある
- 5 ☐ 知らない/これまで全く知らなかった

※ 足立区では、令和6年4月から「誰でも・なんでも相談できる福祉窓口」として「福祉まるごと相談課」を創設し、包括的相談支援を開始しました。

さらに、令和7年4月21日からは、区役所本庁舎別館1階(梅島2-2-2)とすこやかプラザ あだち3階(江北5-14-5)の2拠点体制となり、ご都合のいい場所でご相談いただくことができます。

どちらの窓口に来ていただいてもOK！
お気軽にお問い合わせください。



NEW 令和7年4月21日 OPEN

すこやかプラザ あだち 3 階

福祉まると相談課 西部拠点係
足立区江北 5-14-5
問合せ 03-5888-4571

足立区役所 別館 1階

福祉まるごと相談課 東部拠点担当
足立区梅島 2-2-2
☎03-3880-5705

相談時間

月・水・木曜 午前9時～午後5時 火・金曜 午前9時～午後7時
第2土曜(すこやかプラザあだち) 午前9時～午後5時
第4日曜(足立区役所 別館) 午前9時～午後5時



福祉まるごと
◀ 相談窓口について
詳しくはコチラ

Q14 足立区では毎年、「ひきこもりの理解と支援のためのセミナー」を開催しています。貴事業所でも参加したいと思う内容について、該当する項目に✓をつけてください(✓はいくつでも可)。

- | | |
|---|---|
| 1 ☐ ひきこもり経験者による講演 | 6 ☐ ひきこもりの支援者養成研修 |
| 2 ☐ 医師など専門職による講演 | 7 ☐ 実務者レベルの事例検討会 |
| 3 ☐ 支援者による個別事例を基にした講演 | 8 ☐ ひきこもりの基本的な知識や接し方等
ノウハウが学べる勉強会 |
| 4 ☐ 個別の相談会 | 9 ☐ その他 |
| 5 ☐ 参加者同士による意見交換(ワークショップ形式やワールドカフェ形式※) | |

※ ワークショップ形式とは、参加者同士でテーマに沿った体験・意見交換・協働作業を通して学ぶ手法
 ※ ワールドカフェ形式とは、カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で、参加者が自由に対話を行う手法

Q15 現在、足立区では、様々な悩みや困りごとを抱える方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、今後の区政運営の参考とさせていただきます。

他の目的に使用することは、一切ございません。



足立区では、「ひきこもりご本人とご家族の方のためのリーフレット」を配布しています。

リーフレットをご希望される場合は、福祉まると相談課までご連絡ください。



▲コチラからリーフレットの内容をご覧ください

足立ひきこもり家族会



家族会HP
はコチラ

懇談会形式で、事前の申し込みも不要で気軽に参加できます。お互いにひきこもりについての悩みを共有し、ヒントを出し合い、時に専門家によるアドバイスもいただきながら、支えあう場を目指しています。



▲家族会の活動風景

開催日時	毎月第2土曜日 午後1時30分～午後4時30分 (※)
対象	ひきこもり状態にある方を抱えるご家族、ご本人及び関心のある方
会場	足立区役所別館(足立区梅島2-2-2)
参加費	500円(ひきこもり本人は無料)
連絡先	adachihikikomori@gmail.com



セーフティネットあだち



セーフティネットあだち
HPIはコチラ

相談支援

ご本人も、その親も、きょうだいも、関係機関も



利用日時	月曜～金曜 午前10時～午後6時
休業日	土曜・日曜、祝日、年末年始、毎月第2月曜 (祝日の場合は毎月第3月曜)
住所	足立区千住5-13-5(学びピア 21 7階)
電話	03-6807-2762
メール	sn_adachi@kizuki.or.jp

居場所支援

ひきこもりご本人の家以外での居場所を支援



◀ 居場所の様子

部屋全体を木目調で統一し、居心地がよく話しやすい空間を提供

- 自分のペースで過ごす
- 読書やゲーム、描画などご自身の状態に合った活動
- スタッフや他の利用者とのお話や交流
- ご自宅 ⇄ セーフティネットあだち間の交通費支給



※ 足立ひきこもり家族会について、令和8年4月以降は、開催日時は毎月第4日曜日午後1時30分～午後4時30分となっている。

